

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体			
		評価点	重み係数	評価点	重み係数				
Q 建築物の環境品質						2.5			
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 騒音		-	-						
1.2 遮音		-	-						
1 開口部遮音性能		-	-						
2 界壁遮音性能		-	-						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音		-	-						
2 温熱環境									
2.1 室温制御		-	-						
1 室温		-	-						
2 外皮性能		-	-						
3 ゾーン別制御性		-	-						
2.2 湿度制御		-	-						
2.3 空調方式		-	-						
3 光・視環境									
3.1 昼光利用		-	-						
1 昼光率		-	-						
2 方位別開口									
3 昼光利用設備									
3.2 グレア対策		-	-						
1 昼光制御		-	-						
3.3 照度		-	-						
3.4 照明制御		-	-						
4 空気質環境									
4.1 発生源対策		-	-						
1 化学汚染物質									
4.2 換気		-	-						
1 換気量		-	-						
2 自然換気性能		-	-						
3 取り入れ外気への配慮		-	-						
4.3 運用管理		-	-						
1 CO ₂ の監視		-	-						
2 喫煙の制御		-	-						
Q2 サービス性能									
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ		-	-						
1 広さ・収納性		-	-						
2 高度情報通信設備対応		-	-						
3 バリアフリー計画		-	-						
1.2 心理性・快適性		-	-						
1 広さ感・景観		-	-						
2 リフレッシュスペース		-	-						
3 内装計画		-	-						
1.3 維持管理		-	-						
1 維持管理に配慮した設計		-	-						
2 維持管理用機能の確保		-	-						
2 耐用性・信頼性									
2.1 耐震・免震		2.8	0.50						
1 耐震性		3.0	0.50						
2 免震・制振性能		3.0	0.80						
		3.0	0.20						
2.2 部品・部材の耐用年数		2.3	0.30						
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.22						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.22						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.11						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-	-						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		-	0.22						
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.22						

2.4 信頼性			3.0	0.20			
1	空調・換気設備		-	-			
2	給排水・衛生設備		-	-			
3	電気設備		3.0	0.50			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.50			
5	通信・情報設備		-	-			
3 対応性・更新性			2.7	0.50			2.7
3.1 空間のゆとり			2.2	0.30			
1	階高のゆとり		1.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.155	4.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30			
3.3 設備の更新性			3.0	0.40			
1	空調配管の更新性		-	-			
2	給排水管の更新性		-	-			
3	電気配線の更新性		3.0	0.33			
4	通信配線の更新性		-	-			
5	設備機器の更新性		-	-			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.67			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57			2.4
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30			2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			1.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-			3.2
LR1 エネルギー			-	0.40			3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制				-			-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13			3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.72 住宅(専有部) -	4.0	0.63			4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEIm 0.72	4.0	1.00			
集合住宅の評価(3c)				-			
4 効率的運用			3.0	0.25			3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00			
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
集合住宅の評価				-			
4.1	モニタリング			-			
4.2	運用管理体制			-			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			2.6
1 水資源保護			3.0	0.20			3.0
1.1 節水			-	-			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	1.00			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60			2.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.22			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.22			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	1.00			
3.2 フロン・ハロンの回避			-	-			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)		-	-			
3	冷媒		-	-			
LR3 敷地外環境			-	0.30			3.3
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2 86%	3.5	0.33			3.5
2 地域環境への配慮			3.3	0.33			3.3
2.1 大気汚染防止		燃焼機器を全く使用していない	5.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制	適切な量の駐車スペースの確保	4.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		-	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33			3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動		-	-			
3	悪臭		-	-			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制			-			
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.7	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	目的に応じた適度な照度	4.0	0.70			
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			